

い町づくりを

年計画策定される

4つの柱を重点目標に

- 一、地域産業の振興
- 二、社会福祉の拡充と生活環境の整備
- 三、教育文化の振興
- 四、公共施設の整備

一、地域産業の振興

安定した農業経営、活力ある商店街の形成、自然を活かした観光の開発、公害のない工業の振興とを結び、地域に密着した産業の振興を図り、調和のとれた魅力ある町づくりを進めてゆきます。

昭和五十三年度を初年度として昭和五十五年度を最終年度とする第五次総合三カ年計画が策定されました。

この計画は、「明るく、住みよい豊かな町づくり」を目標に、住民生活優先の町政を基調とし策定されたものです。今後、三年間の町の各種施策の指針となるものです。

農業の振興

安定した農業経営の確保を図るため、今後も農業経営の合理化、近代化をすすめると共に、ライスセンター等の集团的営農組合の適

正配置を促し、受委託作業の推進を図って行きます。

また、村ぐるみ農業を積極的に推進し農村環境整備と安定した農業経営の確保につとめます。

一方、兼業農家の育成にも努め自立経営農家と兼業農家の所得格差の是正を図るため、地域の環境を保ちながら公害のない企業導入を推進し雇用機械の拡大、所得の増大を図り、生活の安定につとめます。

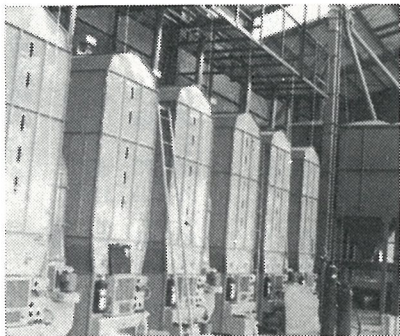
主な事業は、次のとおりです。

●農業基盤整備

水田利用再編対策を契機に、農業用排水施設の整備や暗きよ排水事業等を計画的に実施し、農用地の高度利用を推進してゆきます。

●稲作集団機械化事業

個人的な設備投資を極力抑制し農業経営の合理化、近代化を推進するためライスセンターの建設を推進します。



▲機械化により省力化が進むライスセンター（虫生）

●地力培養対策事業

成田新東京国際空港の開港に伴い野菜園芸作物の需要は更に増大することが予測され、これに伴い産地間の競争も一層はげしくなるものと思われれます。

これらのために、土づくり、作付指導に力を入れ品質の向上を図ります。

畜産の振興

畜産は、食生活の改善に伴いその需要は増大する一方です。

飼養規模も年々拡大され企業化経営へと移った反面、悪臭ふん尿等の畜産公害が問題となつています。

これらのことから、公害対策にも力を入れ、施設の改修、野菜生産農家等との提携によりふん尿の土地還元を推進し、畜産環境の保全につとめます。

また、経営の安定を図るため、さらに飼育頭数の拡大を図るとともに、優良品種の導入により品質の向上につとめます。

●優良豚導入事業

優良純粋種豚、種牡豚導入事業を通して種豚の改良と肉質の向上を図り、優良豚の生産を行います。

また、飼料の自給もあわせて推進します。